



とっとり

第121号

市議会だより



「つめたくてきもちいいな～！」
賀露保育園プール開きにて（7月9日）

6月定例会号

目次

6月定例会の概要	2P
市政に関する一般質問から	3～7P
各常任委員会・議会運営委員会の行政視察報告	8P
市議会議員団が「韓国清州市」を訪問	9P
中国市議会議長会より23名が永年勤続表彰	9P
合併調査特別委員会が8町村を圏域視察	9P
会派紹介その（新政会）.....	10P
次回定例会の日程	10P

市勢メモ

平成15年7月1日現在

人口 計 151,024 人
 男 73,000 人
 女 78,024 人

世帯数 57,318 世帯

面積 237.20 km²

明治地区中山間地域総合整備事業など

一般会計3億6,159万1千円を追加補正

六月市議会定例会は、六月六日から十七日までの十二日間の会期で開かれた。

市長提出の「平成十五年度鳥取市一般会計補正予算」など二十三議案、議員提出の「郵便投票制度等の改正を求める意見書の提出」など五議案を、いずれも原案どおり可決・承認・同意した。

市長所信

市長は議案審議に先立ち、所信の一端を次のように述べた。



6月定例会で所信表明に立つ竹内市長

今後、議会との十分な連携のもとで、「新市まちづくり計画」の策定を進め、市民にも十分な説明を行いながら、合併に向けた努力

市政改革

私は、平成十五年度を市政改革の二年目と位置付けている。四月から「市民参画と市民活動の推進に関する条例」も施行され、六月三日には、本年度の「市政を考える百人委員会」を設置した。

今後とも、ISO9001の認証に向けた取り組みなどを通じて、行政の経営品質の向上を図り、市民と行政の「協働」をキーワードに、市民が主役の市政の実現を目指していく。

市町村合併

市町村合併は、第七回合併協議会合同会議に事務事業の調整案が一部提案され、二千三百四十六項目にわたる調整が本格的にスタートした。

今後、議会との十分な連携のもとで、「新市まちづくり計画」の策定を進め、市民にも十分な説明を行いながら、合併に向けた努力

をしていきたい。

合併後の本市が、山陰の発展をリードする日本海地域有数の中核都市となるよう全力を傾けていく。

水道問題

浄水施設の見直しについては、現段階で次の二点が重要であると考えます。

第一に、本市が安全な水を安定的に供給するには、浄水施設の整備が必要であること。

第二に、基本的な方向としては膜ろ過法が最適であると考え、実験を通じて具体的な検討が必要であること。

そのため、ろ過施設検討委員会を設け、最適な膜の選択等について具体的に検証していく。

実験を通じ、浄水施設整備に必要な情報を得るとともに、市民の疑問にも答えていきたい。

平成十六年度には、ろ過方法の変更認可申請を行い、早期の事業再開に向け、責任をもって取り組んでいく。

補正予算

一般会計

一般会計では、明治地区中山間地域総合整備事業、移動通信用鉄塔施設整備事業、鳥取大学前駅バリアフリー化整備補助、知的障害者小規模通所授産施設移転改築費補助、観光コンベン

ション協会事務所移転経費補助などに、総額三億六千五百九十九万一千円を補正した。

補正後の予算規模は、五百七十七億四千六百五十九万一千円となり、前年度六月補正後に対し、三・六%の減となった。

特別会計・企業会計

特別会計では、老人保健費特別会計で、十四年度老人医療費清算による返還金として六千九百九十七万八千円を補正した。

また企業会計では、水道事業会計で、一時中止工事の清算に伴う経費などに四億九百七十九万一千円を補正した。

条例関係

条例関係では、旧勤労者総合福祉センターを市総合福祉センターと一体的に運営するための「鳥取市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正」、重度障害者に関する助成について対象が減となる「鳥取市特別医療費助成条例の一部改正」など、十件が原案どおり可決した。

人事関係

人事関係では、人事異動に伴う固定資産評価員及び、任期満了に伴う人権擁護委員の選任が同意された。

市長提出議案

可決・承認されたもの

六月定例会

第65号 15年度鳥取市一般会計補正予算

第66号 15年度鳥取市老人保健費特別会計補正予算

第67号 15年度鳥取市水道事業会計補正予算

第68号 鳥取市手数料条例の一部改正

第69号 鳥取市簡易水道事業給水条例の一部改正

第70号 鳥取市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

第71号 鳥取市特別医療費助成条例の一部改正

第72号 鳥取市国民健康保険条例の一部改正

第73号 鳥取市道路占用料徴収条例の一部改正

第74号 鳥取市改良住宅等の設置及び管理に関する条例の一部改正

第75号 鳥取市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

第76号 鳥取市立学校条例の一部改正

第77号 鳥取市特別土地保有税審議会条例の廃止

市政に関する一般質問から

今期定例会の一般質問は、六月九日、十日、十一日、十二日の四日間にわたり、二十六人の議員により行われました。今号では、各議員の質問の中からそれぞれ一項目について質問・答弁の要旨を掲載しています。なお、議事録の全文は、市議会のホームページで閲覧できますのでご利用ください。

高見則夫議員（新政会）

基礎学力調査の開示

質問 学校週五日制による学力低下が懸念される中、県の基礎学力調査結果について市に開示請求があった場合、対応をどう考えているのか。



小学校の授業のようす

教育長 県の基礎学力調査は七月末に結果が公表される予定であるが、どの学校が何点、県平均点が何点といったことを調査するものではない。生活に関する質問等もあわせて実施して

おり、確かな学力の定着と、教員の指導の手がかりとするための調査と把握している。開示請求に対しては、個人情報保護の観点及び教育上の配慮の観点から、学級単位の調査結果を非開示の対象と考えている。

鶴巻 順議員（こつ風）

NPOへの支援策

質問 NPOは営利を求めない非営利組織だが、活動資金が厳しいという現実がある。行政との連携に意義のある団体であれば、助成金をだしてはどうか。

市長 NPO法人すべてというものではなく、活動の中でいくなかで行政とのかわりがでてくる場合において、何らかの支援は考えていきたい。福祉の分野やまちづくりの分野など社会的に有益な活動をされている団体に、行政がかかわる分野への参入をしていただくことはあると思う。そうした活動に対し

ては、一定の資金援助を行うこともこれから出てくるのではないかと考える。

森本正行議員（こつ風）

市民活動拠点の整備充実

質問 市民活動の推進のためには、公民館・集会所、学校など地域づくりの拠点となる施設の整備充実が不可欠である。どう取り組んでいくのか。

市長 公民館は、七月一日からは職員一名を増員して土日を開館できる体制にするなど、機能充実を図っている。集会所は、新築や改築時に補助制度を設けて整備の支援をしている。また、公共空地の貸し付けにより、建設を促進する方策も検討中である。学校の体育館や校庭は、学校の運営に支障のない限りすべて無料で開放しているが、四月からは司書の勤務体制を充実させ、図書室も予約制で土日を開放している。

武田えみ子議員（公明党）

旧ダイエー跡地の利活用



旧ダイエー跡地

質問 二十万都市構想における駅南地域の位置付けの中で、さざんか会館などの福祉施設に連動する旧ダイエーの跡地利用をどう考えるか。

市長 旧ダイエー跡地を有効活用することで駅南地域のにぎわいの創出、ひいては中心市街地の活性化に大きな効果を期待したい。この土地は交通の利便性のよい場所であり、市民生活の向上に役立てていくことが重要である。また、隣接するさざんか会館など、市の施設の駐車場問題も深刻な状況である。現在進めている市町村合併との関連もあわせ、具体的に検討していくことが必要であると認識している。

第78号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

第79号 鳥取市・河原町・用瀬町・佐治村・智頭町合併協議会の設置

第80号 鳥取市・国府町・福部村・岩美町合併協議会の設置

第81号 工事請負契約の締結

第82号 専決処分事項の報告

第83号 及び承認

第85号 鳥取市固定資産評価員の選任

第86号 人権擁護委員候補者の推薦

建設水道委員会は、水道事業会計補正予算に関連し、委員長報告で次のとおり付言しました。

（要旨）ろ過施設の実験は、目的を明確にし、経過等を情報提供し、市民の疑問に答えられるよう最善の努力を求めます。

職員の調査・研修は、成果のあるものにされるよう要望する。江山造成地の保全対策は、経費を最小限に抑え、適正な保全管理を求めます。

以上、予算の執行に当たっては、合理的かつ慎重に執行されるよう強く求める。

議員提出議案

可決されたもの

第9号 郵便投票制度等の改正を求める意見書の提出

森田紘一郎議員(会派21)

自然エネルギー活用推進策

質問 自然エネルギーの活用推進策として、個人住宅が太陽光発電装置を設置する場合に、補助金等の支援策を設けてはどうか。

市長 個人住宅の太陽光発電については財団法人新エネルギー財団の助成制度があり、市内でもこの制度を活用している例がある。中四国地方では二十一の自治体、県内では名和町が独自の上乗せ補助制度を実施している。本市としても、普及促進のためにどの程度有効なのか、どの程度需要が見込まれるのかなどの観点を含め、これからの研究課題として検討していきたいと考えている。

本多達郎議員(新政会)

障害者雇用の取り組み

質問 本市の多くの外郭団体は障害者の法定雇用率を達成していない。行政に係る機関は率先して障害者を雇用すべきではないか。

市長 各団体の障害者雇用率は、概して非常に少ないと改めて感じている。関係団体への指導は

折に触れて要請してきたとは思いますが、実効があがっていないと思われる。今後、臨時職員や嘱託職員を含め、意欲と能力がある方の採用が進むよう、一定期間内に採用する計画を提出するよう要請、指導していきたい。また、雇用以外にも、業務を福祉作業所などに委託するなどの検討も要請していきたい。

桑田達也議員(公明党)

ごみ分別収集カレンダー

質問 ごみ問題には適正な分別の推進が必要である。分別方法や収集日が分かりやすい「ごみカレンダー」を作成し、全世帯に配布してはどうか。



大切なゴミの分別

市長 市民への啓発は、家庭ごみの分別と出し方のガイドを作成し配布をしている。また、市

報・ホームページ・行政情報番組を通じて啓発、さらには各町内会や大学等に出向いての出前説明会も実施しており、今後とも情報提供に努めていきたい。これから合併に向け、ゴミの収集や分別についてもいろいろ調整を図っていくことになる。御提案のカレンダーについても検討項目の一つにしていきたいと考えている。

松田重実議員(こころ風)

環境先進都市のまちづくり

質問 環境大学が開学して三年目を迎える。大学の先進的な取り組みと連携する中で、本市も環境先進都市としてふさわしいまちづくりを目指すべきでは。

市長 環境先進都市を目指す本市として、環境大学はその原動力となっていたきたいと考えている。その名にふさわしい、先進的な環境への取り組みをどんどん進めていたきたい。鳥取の地で実践したり実験したりしていただくことには、できる限りの協力をしていきたい。例えば、NPOの方々が主催される「エコタウン2020」といった取り組みにも、できるだけ参加するよう検討していきたいと考えている。

国富三郎議員(新政会)

行政評価制度の導入

質問 行政改革推進のための新たな手法として、行政評価制度の導入に取り組む地方公共団体の数が増加している。本市の考え方はどうか。



実践の段階に入った行政評価制度

市長 行政評価制度は、平成十四年度から本格的な準備を始め、今年度から試行する。議論だけでなく実践の段階に入った。今まさに組織の中での仕事の進め方、意識の改革が問われている。この制度を着実に進め、合併後の市においても重要なテーマとして推進していきたい。鳥取市の行政が問われている中、問われる中身としてきちんと提示できるように、そして実効性をもって実施されるよう努力を重ねていきたいと考えている。

請願と結果

- 第10号 税源移譲を基本とする三位一体改革の早期実現を求める意見書の提出
- 第11号 遺伝子組みかえ食品に関する意見書の提出
- 第12号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出
- 第13号 WTO農業交渉に関する意見書の提出

陳情と結果

- 採択となったもの
 - 「遺伝子組みかえ稲」を学校給食に使用しないこと、並びにその承認と表示に関して国への意見書提出を求める請願 (米子市 平田和弘 外四九名)
 - 不採択となったもの
 - 鳥取県特別医療費助成条例の「改正」に伴う「食事療養費助成の廃止」と介護保険の「医療費助成の廃止」の取りやめを求める請願 (栄町 藤田 安一)
- 採択とならなかったもの
 - 鳥取市連合婦人会50周年記念事業助成についての陳情 (大代 本多 享子)

河越良一議員(こつ風)

ツデーウォークの開催

質問 来年九月に鳥取で開催される全国レクリエーション大会で、鳥取の自然、歴史、文化などを知っていただくツデーウォークを企画してはどうか。

市長 来年度は、体育分野で大きなイベントがかなり予定されている。このため、教育委員会が主体となって開催するのは非常に難しい状況である。しかし大変いいことであり、どういう形で実行できるかわからないが、そうした歩くイベントは検討していきたいと思っっている。実現に当たっては、各界の関係者のお力添えが必要であり、御協力を仰ぎながらの検討とさせていただきます。

松本信光議員(こつ風)

賀露西浜地区へのバス運行

質問 「かるいち」などがある西浜地区にはバス停がない。観光発展のためにバス路線の延長ができないか。また、麒麟獅子バスのコースにしてはどうか。

市長 現在の路線は、県道鳥取港線から市道上浜灘端線を通じて運行しているが、確かに西浜

地区にはバス停がない。ルートの変更について、バス事業者と



西浜地区に一番近いバス停「賀露海岸」

協議をしてみたいと考えている。麒麟獅子バスを走らせる取り組みは今後の課題であるが、現在も鳥取砂丘、因幡万葉歴史館など、かなり広域的な観光の交通手段となっており、可能性はあると考えられる。

谷口 満議員(会派21)

旧岡崎邸・池内邸の保存

質問 時間がどんどん経過する中、特に旧岡崎邸は破壊が進んでいる。旧岡崎邸、池内邸の保存の今後の具体的な方法と、スケジュールを政策調整監に尋ねる。

政策調整監 建物の具体的な保存及び活用方策については、歴史的建造物活用方策検討委員会における検討や、市民政策委員会の実施を考えている。スケジュールとしては、七月ぐらいから検討委員会を開催し、最後は十一月ごろになるかと思う。

その結果を踏まえ、県の関係部局とも協議・連携を図り、所有者の意向も聞きながら、最終的な結論をだす予定にしている。

西川洋々議員(民世会)

学校給食費未納の現状

質問 学校給食費の未納世帯が確実に増加している。未納分はPTAが穴埋めしているのが現実だが、PTAの努力にも限界がある。今後の対応を尋ねる。

教育長

学校現場では、未納の調査を行い、経済困窮世帯には準保護や要保護の制度を受けるよう指導したり、対象とならない世帯には教員が家庭を回って督促を行ったりしている。教育長名で督促状を出したりもしているが、なお未納のものについては、PTAに対して負担を願っている現状もある。今後は、未納処理を含めて、公費で補てんする方法など、市当局と協議して対応を考えていきたい。

橋尾泰博議員(新政会)

スケートボード場の位置

質問 市立病院跡地に設置されたスケートボード場と、中心市街地活性化計画との整合性につ

いて、市長はどのように考えているのか。



市立病院跡地に設置されたスケートボード場

市長

市立病院跡地の本格的な利用と、今回のスケートボード場の整備とは次元が異なるものである。利用者にも暫定的に設けているものであることは説明しており、そういう前提で、あまりお金をかけないような工夫をしながら整備をしてきた。この土地は、中心市街地活性化計画で、生活、文化、福祉の複合機能を持つ施設を設けるという考え方が示されており、恒久的な施設ではないことを御理解いただきたい。

中西昭典議員(こつ風)

公金のペイオフ対策

質問 最近、ペイオフ関連の話はほとんど聞かれなくなった

義務教育費国庫負担制度堅持の意見書提出を求める陳情

(大槻町 秋久正行 外一名)

WT0農業交渉に関する意見書提出を求める陳情

(富安 鎌谷広治 外一名)

みなし採択となったもの

医療費負担増を凍結し、見直しを求める意見書提出につ

いての陳情

(西町 村口徳康 外一名)

不採択となったもの

金子容子さんの早期救出を求

める陳情

(加古川市 大矢卓志)

鳥取城の復元についての陳情

(上町 大島 洋)

消費税の免税点制度などを維

持し、外形標準課税を導入し

ないことを求める意見書提出

についての陳情

(西町 村口徳康 外一名)

おしらせ

四月一日の機構改革に伴って、各常任委員会の所管事項が変更になりました。これにより「総務企画委員会」が、「総務委員会」に、「福祉環境委員会」が、「企画福祉委員会」に名称が変更されました。なお、委員の構成に変更はありません。

が、銀行倒産の「デー」が絶対ないとは断言できない。公金管理に対する市長の気構えを伺う。

市長 公金管理には大変大きな責任があると感じている。本市では、管理についての方針や対応策等を定めているが、こうした経済情勢の中であり、従来にも増して安全性を重視した管理が必要になると考えている。そのためには、県内の自治体や各金融機関から、いろんな情報を収集し把握していくことが必要であり、それが危機管理に対する姿勢であるかと考える。これからも、十分留意していきたいと考える。

入江順子議員(こつ風)

市町村合併と市民図書館



合併後の市民図書館のあり方は？

質問 豊かな感性と情操を育てる場として、身近に図書館があることは大切なことである。合

併後の市民図書館のあり方について、教育長の所見を尋ねる。

教育長 市民図書館は住民の自主的な学習を支援するため、資料や情報の提供を行う生涯学習の拠点施設である。その利便を図るためにも、日常的な生活圏内に設置することが望まれている。市町村合併で行政区域が拡大することになるが、市民図書館のあり方も、合併協議会の中で協議を進めながら、整備計画を策定し、どの地域からでも図書館サービスが受けられるようなシステムを構築していきたいと考えている。

谷口秀夫議員(公明党)

高齢者単独世帯の状況把握

質問 高齢者福祉事業は、本人や家族の申請なしには始まらない。高齢者単独世帯の状況を把握し、行政の温かい手を差し伸べるシステムづくりが必要では。
市長 地域のネットワークやつながりといった網の目で、高齢者を支える仕組みをつくることが課題である。さらに、行政としても地域の高齢者の情報を基礎的なデータとして把握する必要があると考える。高齢者からアクションを起こさないと物事が進まないという事態は、必ず

しも行政のあるべき姿ではない。自主的な判断や行動は尊重されるべきだが、「データ」として持つておかなければならないという必要性を感じている。

田村繁己議員(公明党)

若葉台中学校の建設

質問 若葉台の中学校建設はいまだに実現していない。人口一万人の計画が七千人に修正され、各種の整備事業も遅れる中、学校建設計画の見直しはどうか。



若葉台中学校建設予定地

教育長 文部科学省は、学校の適正規模を十二から十八、ないしは二十四学級、分離は三十一学級以上としている。分離後の両校が適正な規模となることが国庫補助事業採択の大きな要件である。若葉台に建設した場合、平成二十から二十四年度が九学級でピークを迎え、桜ヶ丘中は

十二から十五学級での推移が見込まれている。建設は、今後の若葉台地内の住宅建設や入居の状況を総合的に勘案しながら判断していきたいと考えている。

山下武雄議員(新政会)

山陰海岸の世界遺産登録

質問 山陰海岸を世界自然遺産に登録するには、自治体間相互の広域的な連携が必要不可欠と考える。あるべき組織体制を市長はどう考えるか。

市長 山陰海岸の魅力を情報発信していくことが一番大事なポイントであろうと考える。本市としては、既に関係の公共団体との協議会の設置について話し合いを始めたところである。できる限り広域的な連携をとる中で、観光ということ以上に、山陰海岸自体にテーマを絞って活動ができないかと考えている。将来の世界自然遺産登録の可能性も含め、山陰海岸が高い評価を得られるような取り組みを検討、実施していきたい。

秋口政俊議員(こつ風)

職員への苦情の処理

質問 市長提案箱には職員への

苦情が多いが、市長の所見はどうか。また、その内容はホームページ上に掲載し、改善策を市民に公開すべきではないか。

市長 提案箱の意見は、すべて目を通してしている。市民サービスの上で、職員に対する苦情も真摯に受け止めている。個別の案件の場合、事実関係を把握し、改善策等を話し合っており、回答できるものは回答している。また、結果は関係する職員に周知徹底する努力もしている。ホームページへの掲載は、プライバシー等に差し支えない範囲で、市民サービスにつながる意見については公表するようにしたいと考えている。

角谷敏男議員(共産党)

緩速ろ過検証の必要性

質問 見直し検討委員会は、膜ろ過の次は緩速ろ過で、千代川の水质を検討した上で判断というのが結論だった。もう一度緩速もきちつと検証すべきでは。
水道事業管理者 緩速ろ過は人的な面以外は単純であろうと思う。しかし、生き物を管理するため、相応に神経を使い経験も必要と聞いている。膜ろ過は完全に工場化され、経験などの蓄積なしに機械に任せるといふ点

が楽と感じている。緩速る過の欠点と言われる、きれい過ぎて強固な膜ができないのではという点は、技術的な問題であり、る過実験検討委員会の専門家に相談して、きちつと入り口論で検討すべきと考えている。

人 事

- 六月定例会で同意(敬称略)
- 固定資産評価員
- 近藤 一郎(新任)
- 横枕三五二
- 人権擁護委員
- 山家 哲彦(再任)
- 二階町一丁目三三二二
- 田村 康明(再任)
- 卯垣四丁目二二九
- 村上 昌代(再任)
- 湖山町南一丁目五〇六
- 下田 隆資(再任)
- 宮長一〇一
- 村田 和子(再任)
- 足山一九九
- 三田 三香子(新任)
- 面影一丁目二二二
- 池本道子(新任)
- 富安三〇〇一

市民の皆様へ

議員各自が暑中見舞状を差し出すことは、公職選挙法の規定により禁止されていますので、御理解ください。

上田孝春 議員(民世会)

公共工事の地産地消

質問 公共事業の指名発注において、地元優先の地産地消を実施すれば、本市の経済や雇用に大きく貢献し、地域の活性化につながるかと考えるが。

市長 地元業者への優先発注は従来から基本としている。また元請業者が工事の一部を第三者に請け負わせたり、下請業者に請け負わせたりする場合には、地元業者と契約することや、地元産・地元業者での資材調達をすることなどを現場説明書に明記し指導している。しかし建設業界は全体的に非常に厳しい状況であり、地元業者だけに限定することにいろいろ議論もある。そうした点も踏まえ、基本として地元業者に優先発注するということをしている。

寺垣健二 議員(会派21)

市長公約と水道料金値上げ

質問 市長は水道料金の値上げをしないと訴え当選された。ところが、十六年度の値上げはしないとという詭弁でこまかそうとされている。市長の見解を求める。

市長 私は公約に従い直ちに浄水場建設を中止し、見直し検討委員会を設置した。事業のあり方を十分議論していただき、市民の意見もお聞きしてきた。単に事業の遅れで値上げをしないのではなく、見直しを断念したことではなく、見直しを断念したことで値上げを断念しないこととを最大限努力していきたいと肝に銘じている。そして、事業実施に踏み切る段階で、将来の見通しを明らかにし、判断を仰ぐ必要があると考えている。



日常生活に欠かせない水道水

村山洋一 議員(新政会)

民間賃貸住宅の活用策

質問 公営住宅は不足しているのに民間の中古賃貸住宅は過剰という現状がある。こうした民間物件を借り上げ、市営住宅として活用できないか。

市長 民間中古賃貸住宅を市営

住宅に活用するには、バリアフリー化や遮音性能などの基準が問題になる。今の過剰分の中に適合する住宅をみつけることはなかなか難しい。また、部屋を埋めるための家賃補助では、今住んでいる住宅が空くことにならぬ。このため、良質な賃貸住宅建築への助成や、基準にあうものを借り上げて、公営住宅に切りかえていく事業の方が、行政としても取り組みやすいのではないかと考えている。

山崎健一 議員(公明党)

観光振興への期待

質問 本市の観光振興は、山陰海岸が世界自然遺産の候補になるなど、点としての新しい芽はでている。どう結実させていくのか、今後の展望を尋ねる。

市長 観光資源をたくさん持ちながら、それを生かし切れていないというのが、鳥取の観光の悩みである。吉岡温泉の活性化を図る取り組み、歴史的な建物の保存に向けた検討、お笑い健康道場の取り組み、観光サインの整備などのいくつかの点が、具体的に本市の観光を盛り上げていくものと期待している。山陰海岸が世界自然遺産登録の候補地になったことも併せなが

ら、観光の魅力をアップしていきたいと考えている。



吉岡温泉の足つけ湯

村口英子 議員(共産党)

中学生の自衛官募集

質問 自衛官募集のためポスターが校舎内に貼られ、受験の際には、自衛隊のマイクロバスが学校に迎えいくなどの実態がある。教育長はどう考えるか。

教育長 自衛官募集のポスターは中学卒業予定者を対象とした文書募集を禁止する国の通達に反しており、今年度から掲示を控えたい。就職指導は、学校関係者が説明を受け、それを生徒に情報提供している。最終的な決定は生徒と保護者にゆだねられており問題はなかと考えるが、一部に受験に関する手続きや受験当日の輸送方法など誤解を招く対応があった。今後、このようなことがないよう校長会等を通じて徹底を図りたい。

総務委員会



取手市議会説明風景

期日 五月十三日(火)～十五日(木)
参加者 村山、武田、藤原、河越、橋尾、森田、秋口、中西
視察先 取手市 あきる野市

〔視察状況〕

取手市では、民間の資金や技術的・経営ノウハウ等を積極的に活用し、効率的で質の高い行政サービスの達成することを目的としたPFIの事業方式による「取手駅北地区共同ビル整備事業」を視察しました。

秋川市と五日市町の合併により、平成七年度に誕生したあきる野市では、合併で新しく建設された庁舎の視察や土曜・日曜日の窓口開庁業務等による「窓口サービスの向上施策」についての視察しました。

企画福祉委員会



福山市すこやかセンター

期日 五月十九日(月)～二十一日(水)
参加者 国富、谷口(満)、村口、三谷、本多、両川、入江、田村
視察先 広島市 竹原市 福

〔視察状況〕

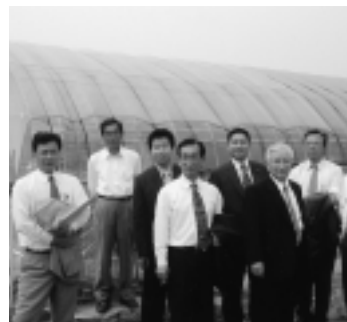
広島市では、本年度から評価実施を始めた「行政評価」の取り組み状況の視察と、被爆体験者である「語り部」の講和をお聞きしました。

竹原市では、社会福祉協議会の「住民参加型地域生活支援活動」を視察しました。

二町との編入合併を進める福山市では「合併設計画」によるまちづくり計画と、福祉の複合施設である「福山市すこやかセンター」を視察しました。

各常任委員会の行政視察

文教経済委員会



「トマト栽培」ハウス施設

期日 五月二十日(火)～五月二十二日(木)
参加者 山崎、角谷、佐々木

福田、吉田、松田、桑田、鶴巻
視察先 八女市 八代市
〔視察状況〕
八女市では、特産であるお茶や花き(電照菊)栽培などの取り組みについて、また農業振興を目的とし、農産物の直売所や貸し農園、温泉、レストランなどを備えた総合施設「べんがら村」を視察しました。

八代市では、不登校児童・生徒への対策として、適応指導教室「くま川教室」の取り組みを、また農業振興の取り組みとして、近年生産量が大幅に増加している「トマト栽培」農家のハウス施設を現地視察しました。

建設水道委員会



大崎浄水場

期日 五月十九日(月)～二十一日(水)
参加者 上田、松本、山下、上

核 高見、寺垣、森本、谷口(秀)
視察先 恵那市 吹田市
〔視察状況〕

恵那市では、膜ろ過方式では西日本最大の規模を持つ、「大崎浄水場」を視察し、実際の運営・維持管理など調査しました。

吹田市では、人と自然との調和を目指し、人工的に自然の森を復活させる実験を進めている「万博記念公園」と、「ごみの減量化・資源の再利用」によって循環型社会の構築を推進することを目的とし、市民、行政、事業者等の活動拠点となっている「資源リサイクルセンター」を視察しました。

議会運営委員会

期日 五月七日(水)～九日(金)
参加者 本多、両川、角谷、河越、谷口(満)、山崎、松本、高見、秋口、三谷、上杉
視察先 一宮市 鎌倉市
〔視察状況〕

一宮市及び鎌倉市では、本会議における「一問一答方式」についての視察を行いました。

両市とも、本会議の議場に質問席を設けた対面型議場により一般質問を行う「一問一答方式」を採用しています。この方式は傍聴者に論点が分かりやすいというメリットがあり、全国的にも取り入れる議会が増えてきています。

「一括質問一括答弁方式」を採用している鳥取市議会でも、本会議の一般質問を活性化するための一方策として、「一問一答方式」の導入を検討しています。



一宮市議会議場

市議会議員団が清州市を訪問

・政策懇談会で活発な意見交換

去る四月二十一日(月)から二十四日(木)の日程で、鳥取市議会議員団が、姉妹都市である韓国の清州市を訪問しました。鳥取市と清州市は、平成二年八月に姉妹都市の提携がなされ、さまざま分野での交流が続けられていますが、両市議会の相互訪問も平成四年から始まっています。

【訪問日程】
訪問団一行は、二十一日に米子空港から空路仁川空港へ向かい、ソウル市内に宿泊。翌二十二日に清州市に移動し、「国立清州博物館」や「清州古印刷博物館」などを視察しました。

【訪問日程】
訪問団一行は、二十一日に米子空港から空路仁川空港へ向かい、ソウル市内に宿泊。翌二十二日に清州市に移動し、「国立清州博物館」や「清州古印刷博物館」などを視察しました。



政策懇談会のようす

【団長感想】
訪問団長の上杉栄一副議長は訪問を振り返り「韓国の国内事情にじかに接することができた。市長や議員から直接考えを聞くことで、多くの分野で日本と韓国との認識の相違を

理解することができた。鳥取市と清州市の友好を深める有意義な訪問になったと確信する。」と報告書の中で述べています。

【訪問団の構成】
今回の議員訪問団の構成は、次のとおりです。

- 団長 上杉栄 一副議長 団員 松本信光議員・高見則夫議員・森田紘一郎議員・寺垣健二議員

中国市議会議長会 23名が永年勤続表彰

去る六月三日、岡山市において中国市議会議長会定期総会が開催され、その席上、永年にわたり地方自治の発展に貢献した功労者として次の方々が表彰されました。

- 議員四十四年以上特別表彰 藤原 繁 議員
- 議員二十八年以上特別表彰 河西 正治 氏
- 田中英 教 氏
- 議員二十年以上特別表彰 村口 英子 議員
- 佐々木 紘一 議員



合併調査特別委員会が圏域視察

期日 六月二十六日(木)～六月二十七日(金)

参加者 福田、河越、藤原、佐々木、本多、両川、武田、国富、山崎、上杉、高見、森田、森本、松田、秋口、田村

視察先 河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町、青谷町、国府町、福部村

【視察状況】
平成十六年十月の合併を目的に、現在協議を行っている鳥取市周辺八町村を視察しました。合併予定圏域の範囲と現状を確認するため、山間部や海岸部、中心部をめぐる、各町村が設置している主要施設に立ち寄り、現状を確認しました。

また、各町村の担当職員によるまちの歴史や概要、今後の課題等について説明を受け、認識を深めました。



鹿野町での視察のようす

- 議員十六年以上特別表彰 沢根 岩男 氏
- 三谷 伝 議員
- 福田 泰昌 議員
- 本多 達郎 議員
- 山田 幸夫 氏
- 角谷 敏男 議員
- 議員十二年以上特別表彰 福田 一郎 氏
- 河越 良二 議員
- 両川 洋々 議員
- 武田 えみ子 議員
- 橋尾 泰博 議員
- 正副議長三年以上一般表彰 福田 泰昌 議員
- 議員八年以上一般表彰 国富 三郎 議員
- 谷口 満 議員
- 村山 洋一 議員
- 石谷 勇雄 氏
- 山崎 健一 議員
- 上杉 栄一 議員

会派紹介 その

市議会議員は、個人だけでなく会派としての活動にも取り組んでいます。この会派の活動や考え方を市民の皆さんにお伝えするため、6回にわたって会派紹介を連載しています。なお、次号の会派は、「公明党」を予定しています。



新政会

市議会新政会は、多くの先人議員のたゆまぬ努力と英知を伝統とし、県都にふさわしい山陰地方の中核都市を支える市議会会派として、着実な活動を展開しております。

更に新世紀の大きな節目となる時代を迎え、新しい市政をめざしております。ときあたかも平成の大合併の時代。本市もこの合併を新しい出発点として、個性ある豊かな市民生活を確かなものにする、夢のある鳥取市の建設が求められています。

私たちが会派は、多くの市民の皆様への負託に答え、市政の諸課題に力を合わせて取り組んで参ります。

新政会の名称と役員

昭和四十七年、新政同志会を結成以来、昭和五十五年にも他の保守系の二会派も合流し、新政会として鳥取市政の長い歴史を支え現在に至っております。

役員は、会長「橋尾泰博」、副会長「国富三郎」、幹事長「村山洋一」、政調会長「高見則夫」、会計「吉田博幸」が就任しております。

新政会のめざす方針

少子高齢化社会や、IT革命による高度情報化の進展、地球環境時代の多様な価値観に対応する市民の皆様へのニーズを、的確に把握した議会活動が求められています。

新しい鳥取市政を目指して、議員それぞれが研さんに努め、真に心豊かで明るく賑わいのあるまちを理念に努力しております。

重要課題への取り組み

当面の課題は、市町村合併の問題です。国においては、構造改革が推進されていますが、地方においても、社会経済環境の変化にあわせた地域づくりに向け、新しい地方行政の姿が求められております。

市町村合併は、地方分権の受け皿の有力手段として、市民のみなさんの価値観や、生活スタイルが多様化する中で、よりよい行政サービスの向上に努力して参ります。

《会派議員の所属委員会》

議会運営委員会			
委員長	本多達郎	委員	高見則夫
総務委員会			
委員長	村山洋一	委員	橋尾泰博
企画福祉委員会			
委員長	国富三郎	委員	本多達郎
文教経済委員会			
委員	福田泰昌	委員	吉田博幸
建設水道委員会			
委員	山下武雄	委員	高見則夫
市町村合併調査特別委員会			
委員長	福田泰昌	委員	本多達郎
委員	国富三郎	委員	高見則夫
中心市街地活性化調査特別委員会			
委員長	橋尾泰博	副委員長	山下武雄
委員	吉田博幸		

浄水場建設問題につきまして、更に研究検討を重ね、市民政策コメントを重視した、真に安全でおいしい水の供給方策をめざして参ります。

多くの市政の課題や社会潮流の中で、新政会は豊富な議会経験を有する人材を生かし、議会運営の中枢として努めて参ります。

会派の主な活動

年間を通じて、次の施策の調査研修を行なっております。

- 一・広域市町村合併の推進
- 二・水道浄水対策に関する調査
- 三・中心市街地の活性化対策
- 四・福祉施策及び人権問題の研修
- 五・学校教育と週五日制の研究
- 六・環境問題に関する調査研究
- 七・スポーツ、文化の振興研修

次回定例会のお知らせ

9月9日	開会・提案説明
10日	休会
11日	一般質問
12日	一般質問
13日	休会
14日	休会
15日	休会(敬老の日)
16日	一般質問
17日	一般質問
18日	質疑・委員会
19日	委員会
20日	休会
21日	休会
22日	委員長報告・討論・採決・閉会

この日程は変更になる場合もあります。

あとがき

市議会だよりのページ数が増えたおかげで、今までできなかった記事が掲載できるようになりました。今後とも、いろいろな市議会の情報をお伝えできればと思っています。

市民の皆様が親しまれるような紙面づくりを目指して頑張っております。ご意見や感想等がありましたら、議会事務局までお寄せください。

電話 二〇 三三四三
FAX 二〇 三〇四九